

## 利用のご案内

- 開館時間／午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)
- 休館日／月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館)及び年末年始(12月29日から1月1日まで)  
ただしGW(4月29日[月]～5月6日[月])は無休
- 臨時休館／4月18日[木]～4月19日[金]、7月11日[木]～7月12日[金]、9月25日[水]～10月4日[金]、10月22日[火]～10月31日[木]

入場料	( )内は20名以上の団体料金			
	一般	満70歳以上	高大生	小中生
英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり	1,210円 (1,100円)	600円 (550円)	1,000円 (870円)	490円 (370円)
石岡瑛子1デザイン	1,000円 (870円)	500円 (430円)	730円 (610円)	370円 (240円)
つくる展 TASKOファクトリーの ひらめきをかたちに	1,000円 (870円)	500円 (430円)	730円 (610円)	370円 (240円)
令和6年度 茨城県芸術祭美術展覧会	800円 (720円)	800円 (720円)	大学生 800円 (720円)	高校生 以下 無料
没後100年 中村彝展	1,210円 (1,100円)	600円 (550円)	1,000円 (870円)	490円 (370円)
キース・ヘリング展 アートをストリートへ	1,210円 (1,100円)	600円 (550円)	1,000円 (870円)	490円 (370円)
所蔵作品展	320円 (240円)	160円 (120円)	240円 (180円)	180円 (120円)

- ※企画展をご覧の方は、同日中に限り所蔵作品展が無料になります。
- ※土曜日は、高校生以下は無料です(中学生の方は生徒証をご持参ください)。ただし、夏季・冬季及び学年末・学年始における学校の長期休業日に当たる期間は除きます。
- ※茨城県民の日(11月13日[水])はすべての方が無料です。

- ※以下の方は無料で観覧会をご覧いただけます。
  - ・教育課程に基づく教育活動の一環として入館する県内所在の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び県外を含む特別支援学校の児童生徒並びに引率者、教育課程に基づく教育活動の一環として入館する県内幼稚園の幼児の引率者
  - ・国際交流事業として、国外から本県内の学校等に留学している方
  - ・児童福祉法の規定に基づく児童福祉施設、老人福祉法の規定に基づく老人福祉施設及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律の規定に基づく障害者支援施設に入所している方並びに付き添いの方(1人につき付き添い1人まで)
  - ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証の交付を受けている方並びに付き添いの方(1人につき付き添い1人まで)
  - ・生活保護法による扶助を受けている方

- ※満70歳以上の方が無料となる高齢者無料入館日は次のとおりです。
  - ・石岡瑛子1デザイン：4月27日[土]
  - ・つくる展 TASKOファクトリーのひらめきをかたちに：9月15日[日]～9月21日[土]※9月17日[火]は休館
  - ・没後100年 中村彝展：12月24日[火]※中村彝の命日
  - ・キース・ヘリング展 アートをストリートへ：2月1日[土]
- ※入場料や駐車料金などの最新の情報は、当館ホームページをご確認ください。

## 県立美術館共通年間パスポート(購入日より1年間有効)

- 一般3,150円、高大生2,100円、小中生1,050円
- 茨城県近代美術館、茨城県天心記念五浦美術館、茨城県陶芸美術館の各美術館が主催する展覧会で、1年間に何回でもご利用いただけます。ただし、茨城県芸術祭美術展覧会(近代美術館)、貸しギャラリー展(つくば美術館・天心記念五浦美術館・陶芸美術館)は除きます。

## 友の会

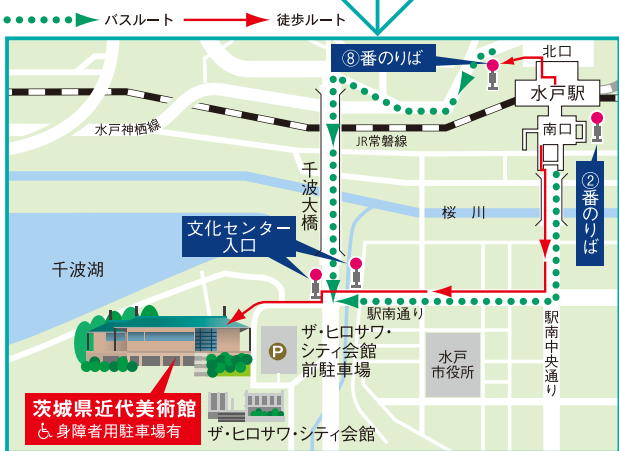
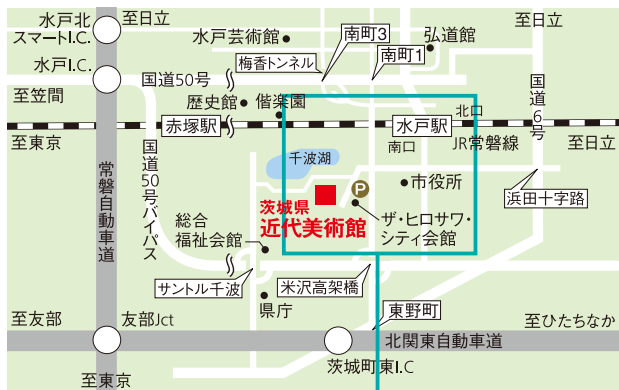
- 【年会費】 一般3,000円、学生2,000円、ファミリー会員5,000円、特別会員(個人・法人)20,000円
- 茨城県近代美術館と茨城県天心記念五浦美術館共通の会です。両館主催の展覧会はいつでも無料。各美術館の企画展やイベント、友の会独自の催し物のご案内をお送りします。その他の特典や申込方法は、友の会事務局までお問い合わせください。

## 交通のご案内

- 【電車・高速バスをご利用の場合】
- 水戸駅まで
  - ◎電車／①東京駅からJR常磐線特急で約1時間15分  
②宇都宮駅からJR宇都宮線・JR水戸線で約2時間  
③いわき駅からJR常磐線特急で約1時間
  - ◎高速バス／①東京駅八重洲南口バスターミナルから約2時間  
②茨城空港から約40分
- 水戸駅から
  - ◎徒歩／水戸駅南口から約20分
  - ◎バス／水戸駅北口⑧番または南口②番(平日のみ)のりばから乗車約5分、「文化センター入口」にて下車
  - ◎タクシー／水戸駅南口から約5分

- 【車をご利用の場合】
- 常磐自動車道／水戸ICから約25分、水戸北スマートICから約20分
- 北関東自動車道／茨城町東ICから約15分

- 駐車場のご利用
- 当館正面の「ザ・ヒロサワ・シティ会館前駐車場」をご利用いただけます。
- 駐車料金:普通車420円/マイクロバス840円/大型バス1,570円
- ※当館総合受付にて入館券をお求めの際、レシートと引換えに駐車料金をご返金いたします。



## 茨城県近代美術館

〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保666-1  
TEL:029-243-5111 FAX:029-243-9992  
E-mail: info@modernart.museum.ibk.ed.jp  
URL https://www.modernart.museum.ibk.ed.jp/



2024年3月発行

# 茨城県近代美術館 展覧会・イベント スケジュール 2024年4月—2025年3月

## The Museum of Modern Art, Ibaraki Exhibition Information

Apr. 2024 → Mar. 2025



アイ  
石岡瑛子1デザイン  
2024.4.27～7.7

「西洋は東洋を着こなせるか」  
PARCOポスター 1979年



つくる展  
TASKOファクトリーの  
ひらめきをかたちに  
2024.7.20～9.23

「FLOWER DISPLAY」  
©TASKO



没後100年  
つね  
中村彝展  
2024.11.10～2025.1.13

中村彝「小女」1914年  
株式会社中村屋蔵



キース・ヘリング展  
アートをストリートへ  
2025.2.1～4.6

キース・ヘリング「無題」  
1983年  
中村キース・ヘリング美術館蔵  
Keith Haring Artwork  
©Keith Haring Foundation

## 施設紹介

茨城県近代美術館は、1988(昭和63)年、借築園の眼下に広がる千波湖のほとりに開館しました。2階には企画展示室、1階には所蔵作品展示室及びアートフォーラム、地階には講堂や講座室があり、さまざまな展覧会やイベントを行っています。また、館内はバリアフリーに配慮したつくりになっているほか、ミュージアムショップやレストランもありますので、安心して楽しくご利用いただけます。

## ■アートフォーラム

子どもから大人まで楽しめる無料のスペースです。  
【展示コーナー】  
解説パネルや画材などを展示しています。  
【映像コーナー】  
所蔵作品の紹介映像や、描いた絵が動き出すデジタルアートを楽しめます。  
【図書コーナー】  
美術関係の図書や雑誌を閲覧いただけます。

## ■中村彝アトリエ

大正期に活躍した水戸市出身の洋画家中村彝(1887-1924)の東京都新宿区下落合にあったアトリエを、当館敷地内に新築復元し、公開しています。  
【開室時間】  
火～金曜日:午後1時～午後3時  
土・日・祝日:午前10時30分～午後3時  
【休室日】  
当館休館日に同じ  
\*そのほか臨時に休室する場合があります。

## イベント紹介

年間をとおして様々なイベントを実施しています。

## ■講演会

展覧会ごとに多彩な講師をお迎えして開催します。

## ■企画展鑑賞講座・ギャラリートーク

企画展の見どころを当館学芸員がご紹介いたします。企画展チケットをご用意ください(ギャラリートークの場合)。

## ■ようこそ！美術の森へー学芸員と巡るコレクション

所蔵作品展を鑑賞しながら語り合う、対話型のギャラリートークです。所蔵作品展チケットをご用意ください。

【実施日】毎月第3土曜日(10月と2月を除く)  
【時間】午前11時～(約30分)

## ■コレクションミニガイド

展示解説員が、所蔵作品展をわかりやすくご案内しています。所蔵作品展チケットをご用意ください。

【実施日】所蔵作品展のみの期間中 【時間】午前10時～(約20分)

## ■家族でわくわくミュージアム

乳幼児・小学生を含むご家族で楽しむ、対話型の作品鑑賞会です。各所蔵作品展会期中に3回程度開催。所蔵作品展チケットをご用意ください。

## ■オリエンテーション

団体(20名以上)でご来館の際には、展覧会見学前に当館について簡単にご案内します。ご希望の場合は事前にご連絡ください。

## ■ミュージアムコンサート

講堂またはエントランスホールにて、不定期で開催しています。

## ■子どものためのオープンワークショップ

子ども向けのワークショップを年2回開催します。



企画展鑑賞講座 ミュージアムコンサート 子どものためのオープンワークショップ

The Museum of Modern Art, Ibaraki



展覧会のご案内 Exhibition Information [2024.4~2025.3]

企画展  
茨城県近代美術館

- 4月 Apr
- 5月 May
- 6月 Jun
- 7月 Jul
- 8月 Aug
- 9月 Sep
- 10月 Oct
- 11月 Nov
- 12月 Dec
- 1月 Jan
- 2月 Feb
- 3月 Mar

**英国キュー王立植物園**  
おいしいポタニカル・アート  
食を彩る植物のものがたり  
→4月14日(日)

**アイ デザイン**  
石岡瑛子 I  
4月27日(土)→7月7日(日)

デザイナーとして人々に新しい価値観を提示し、広告、舞台、映画など多岐にわたる分野で国際的に活躍した石岡瑛子(1938-2012)。本展では資生堂やPARCOの広告など前半期の代表作を中心に、彼女の飽くなき情熱が刻み込まれた約500点の作品を一挙公開。今なお鮮烈な輝きを放つ石岡瑛子の仕事の本質に迫るとともに、その創造の核となった「I=私」を浮き彫りにします。



「地獄の黙示録」映画ポスター 1979年

**つくる展**  
TASKOファクトリーのひらめきをかたちに  
7月20日(土)→9月23日(月・振)

ユニークな発想力と優れた技術力で、映像や立体物など幅広い分野の作品を手がけてきたアート・ファクトリー「TASKO(タスコ)」。本展では、明和電機出身者も集うTASKOらしい、磁力や風力を利用した動く装置や、光や影の特性を活かした空間展示、音やオブジェ、香りが運動する作品など、五感で楽しめる作品を通して、ものづくりの魅力を紹介します。



「ひかりの3原色」©TASKO

**令和6年度茨城県芸術祭美術展覧会**  
10月5日(土)→10月20日(日)

茨城県、茨城県教育委員会、茨城文化団体連合等が主催する全県的な公募展です。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・デザイン各部門の入選作品を展示します。※書・写真部門はザ・ヒロサワ・シティ会館で展示します。

**つね 没後100年 中村彝展**  
11月10日(日)→1月13日(月・祝)

水戸市出身の洋画家・中村彝(1887-1924)の没後100年を記念して開催する展覧会。作品に描かれたテーブルや椅子など遺品類、あるいはルノワールやセザンヌなど影響を受けた西洋美術作品と彝の作品を比較することで、彝が何を見て、何を描こうとしたのかをさぐります。また、画家を支えた人々の存在に着目し、大正という時代の豊かさに迫ります。

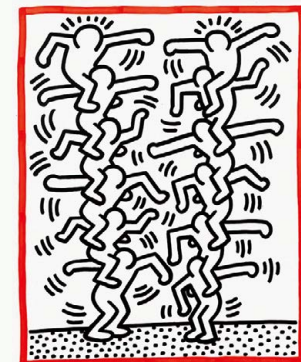


中村彝「頭蓋骨を持てる自画像」1923年 大原美術館蔵

※「没後100年 中村彝展」はパートナー企業からのご支援をいただいております。

**キース・ヘリング展**  
アートをストリートへ  
2月1日(土)→4月6日(日)

1980年代ニューヨークを代表するアーティストの一人、キース・ヘリング(1958-1990)の大規模な個展。「アートはみんなのために」という信念のもと、地下鉄駅構内やストリートを舞台に、グラフィティや広告デザインなど多彩な分野で活躍し、HIV・エイズ予防啓発運動にも取り組んだヘリング。本展では活動初期の貴重な作品から晩年の大作までの約150点により、今も色褪せないヘリングのメッセージをさぐります。



キース・ヘリング「スリー・リットグラス」1985年  
中村キース・ヘリング美術館蔵  
Keith Haring Artwork ©Keith Haring Foundation

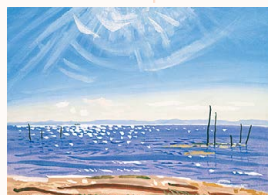
所蔵作品展

日本の近代美術と茨城の作家たち  
冬から春へ  
→4月29日(月・祝)



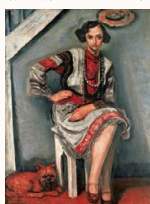
カミーユ・ピサロ  
「グラット=コックの丘からの眺め、ポントワーズ」1878年

木村武山 須磨御殿杉戸絵  
→4月29日(月・祝)

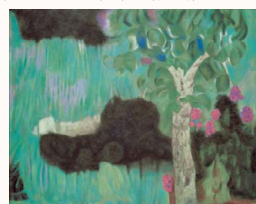


小堀進「朝陽(鶯ヶ浦)」1955年

日本の近代美術と茨城の作家たち 夏  
(前期)6月25日(火)→8月4日(日) (後期)8月7日(水)→9月21日(土)



熊岡美彦「ロシアの女」1928年



浦田正夫「緑陰」1996年  
\*後期のみ展示

フシギな作品、大集合!  
6月25日(火)→9月21日(土)



遠藤彰子「午睡」1992年

日本の近代美術と茨城の作家たち  
秋から冬へ  
11月1日(金)→12月21日(土)



菱田春草「菊慈童」1901年

中村彝の仲間たち  
—大正時代の画家・彫刻家  
11月1日(金)→12月21日(土)



中原悌二郎  
「若きカフカス人」1919年

日本の近代美術と茨城の作家たち 冬から春へ  
(前期)12月25日(水)→2月13日(木) (後期)2月18日(火)→次年度



横山大観「蓬莱山」1946年頃



小林巢居人  
「瀑水」1957年

ストーリー&ヒストリー  
12月25日(水)→2月13日(木)



森田曠平  
「さすらい(森上郎)」1988年 寄託

木村武山 須磨御殿杉戸絵  
2月18日(火)→次年度



木村武山「須磨御殿杉戸絵 白菊図」1918-19年頃

横山大観と中村彝の作品にいつでも出会える美術館  
— 所蔵作品展紹介

茨城県近代美術館では、明治、大正、昭和の長きにわたり近代の日本にふさわしい新しい日本画の創出に生涯を捧げた横山大観と、病に冒されながらも描くことへの欲求に突き動かされるかのよう短い生涯を駆け抜けた洋画家中村彝という、日本の近代美術に大きな足跡を残した二人の画家を中心に、茨城ゆかりの芸術家の作品を収集しています。

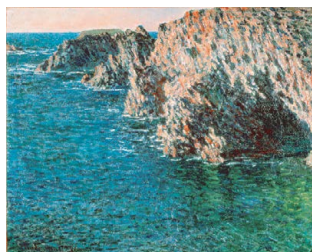
さらに大観や彝の画業を語る上で欠くことのできない印象派をはじめとする西洋近代美術や、明治以降の日本の美術を彩ってきた芸術家の作品を幅広く網羅したコレクション約4,300点を、年に9回程度開催する所蔵作品展で順次紹介しています。

第一展示室「日本の近代美術と茨城の作家たち」では、横山大観をはじめ北茨城の五浦で大観と共に切磋琢磨した菱田春草、下村観山、木村武山ら「五浦の作家」、国内随一の作品所蔵数を誇る中村彝、大観や彝をはじめとする日本の芸術家に大きな影響を与えたクロード・モネやオーギュスト・ルノワール、オーギュスト・ロダン等の西洋近代美術などについてそれぞれコーナーを設置し、茨城ゆかりの作家を含む日本の近代美術と共に、季節にあわせて幅広く紹介しています。

第二展示室では毎回テーマを設定し多様な作品の魅力を発信しています。特に今年は、企画展「没後100年 中村彝展」にあわせ彝と親しく交わった芸術家たちを紹介する「中村彝の仲間たち—大正時代の画家・彫刻家」を開催するほか、夏休み期間には子どもも楽しめる「フシギな作品、大集合!」の展示を行います。



中村彝  
「カルピスの包み紙のある静物」1923年



クロード・モネ「ポール=ドモワの洞窟」1886年



横山大観「流燈」1909年

※今年度の展示については、当館ホームページをご確認ください。

他館インフォメーション

**茨城県天心記念五浦美術館**  
〒319-1703 北茨城市大津町樺2083  
TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711  
URL <https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>

**茨城県つくば美術館**  
〒305-0031 つくば市吾妻2-8  
TEL:029-856-3711 FAX:029-856-3358  
URL <https://www.tsukuba.museum.ibk.ed.jp/>

**茨城県陶芸美術館**  
〒309-1611 笠間市笠間2345(笠間芸術の森公園内)  
TEL:0296-70-0011 FAX:0296-70-0012  
URL <https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

茨城県天心記念五浦美術館  
企画展

水底に群れ、水面に集う  
西田俊英展 不死鳥  
4月20日(土)→6月23日(日)  
→4月14日(日)

35周年記念 かいけつゾロリ大冒険展  
7月5日(金)→9月1日(日)

顔展—どうしてそんな表情  
9月7日(土)→10月20日(日)

猫を愛でたい  
10月26日(土)→12月8日(日)

幻視する風景—藤田志朗の世界  
12月14日(土)→2月11日(火・祝)

奥原晴湖と近代の南画  
2月21日(金)→4月20日(日)

茨城県陶芸美術館  
企画展

魯山人クロッシング  
4月27日(土)→7月7日(日)

タクミのセラミック・トラベル  
7月27日(土)→9月23日(月・振)

現代日本陶芸アニュアル、いばらき  
10月12日(土)→1月26日(日)

ティーカップ・メリーゴーラウンド  
2月15日(土)→6月(予定)

※日程や内容などが一部変更になる場合がありますが、あらかじめご了承ください。